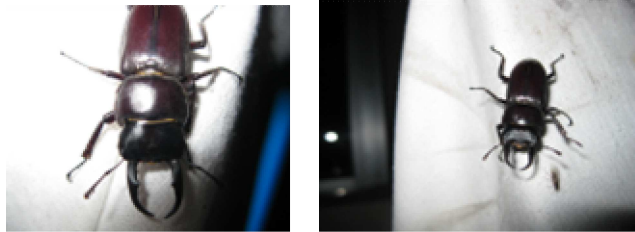


8月 光に集まる生き物に会おう 小学校3～6年生理科

File E - 1: 昆虫の習性(走光性)を利用して、光に集まる虫を観察する >>>> 光を使って昆虫を集めよう

新橋市少年自然の家「玄関前」(所要時間50分)

日没後、白い布にライトを照らして捕獲場所を作る。
昆虫が集まるのを待機し、集まった昆虫を観察する。



【講話】生き物の扱い方、生き物の観察の仕方、
集まった生き物についての解説など。
(ねらい)光に集まる生き物を観察して、虫の習性を
知ることができるようになる。

【観察できる生き物】

ヘビトンボ、カワゲラ、トビゲラ、
ウマオイ、クワガタ、カブトムシ、
コガネムシ、カミキリムシ、夜蛾の
仲間、山まゆの仲間、尺蛾の仲間、
すずめ蛾の仲間、イラガの仲間、ヒ
メバチの仲間、カメムシ、セミ、ヤ
マキマダラヒカゲ(蝶)、クロヒカ
ゲ(蝶)など。

指導体制：指導者1名(全体への指示、指導、時間の計時) に対し **対象人数**：30～35名
指導助手4名(児童の安全確保、児童の質問に应对、指導者補助)

準備：赤城少年自然の家玄関前にて、誘蛾灯2本設置

留意点：夜間の活動なので、安全に配慮する。虫さされの予防(服装・虫除け)をする。
時間帯によって集まる虫の種類が変わる。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

理科 内容B 生命・地球

3年(1) 昆虫と植物 身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。

イ 植物の育ち方には一定の順序があり、その体は根、茎及び葉からできていること。

3年(2) 身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかがわって生きていること。

4年(2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

6年(3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかがわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。